



## 長年にわたる交通安全活動が評価 市町内会連合会が交通安全功労者表彰受賞

このたび十和田市町内会連合会（工藤行雄会長）が平成24年度交通安全功労者表彰を受賞し、10月4日、会長らが市役所を訪れ、小山田市長に喜びの報告を行いました。この賞は、内閣府が実施しており、同会は町内会で連携し、広域に渡って交通安全運動や各世帯への交通安全の呼び掛けなどが評価され、受賞となりました。

工藤会長は「交通安全活動を行っているかたたちにとって励みとなる」と喜びを話しました。



表彰状を手に(写真左から)、佐賀康夫総務部会長、小山田市長、工藤行雄会長

## 全国各地からランナーが集結 とわだ駒街道マラソン

10月7日、市陸上競技場を主会場に第17回とわだ駒街道マラソン大会が開催されました。この大会は、平成8年から市と市教育委員会が行っているものです。種目は、2kmジョギングの部など17種目別に分かれて行われ、1,053人のランナーが官庁街通りを駆け抜けました。

3km一般男子の部で出場した米田榮藏さん（80歳）は「きつかったけれども楽しかった。いくつになっても出場したい」と笑顔で話していました。



勢いよくスタートするランナーの皆さん

## 男女共同参画を身近に感じよう 上十三男女共同参画まつり

10月8日、市民文化センターで「上十三男女共同参画まつり in 十和田」が開催されました。このまつりは、青森県男女共同参画センターおよび上十三地域男女共同参画ネットワーク（國分隆子代表）などが開催したものです。会場では、各団体の活動紹介などのパネル展示やDV朗読劇、特産品の販売などが行われたほか、落語家の林家花丸さんを講師に招き「人生まあるくいきましよう」と題して講演会が行われました。



DV朗読劇を行い、DV防止を呼びかける女と男がつくる十和田ネットワーク

## 2013北海道・東北B-1グランプリ 開催地が十和田市に決定

9月26日、十和田バラ焼きゼミナールの木村長敏学長と畑中宏之舌校長、愛Bリーグ北海道・東北支部幹事の田村暢英さんが市役所を訪れ、「2013北海道・東北B-1グランプリ」の開催地が十和田市に決定したことを小山田市長に報告しました。田村さんは「十和田バラ焼きゼミナールの活動はほかの団体の手本となっている。満場一致で決まった」と選考委員会の様子を話しました。開催時期は来年秋を予定しています。



喜びを報告した(写真左から)畑中舌校長、木村学長、小山田市長、田村さん

## 町内会は皆さんの暮らし を支えています



屋外活動施設を整備した豊ヶ岡町内会の皆さん

### 町内会とは

同じ地域の住人が、地域の課題などをみんなで協力して解決し、安全・安心なまちづくりを目指して、自主的に活動している自治組織です。

### 町内会の役割

防犯、交通安全、環境美化、子育て、高齢者支援、防災など生活の中に起こるさまざまな問題の解消に取り組みます。また、祭りなど各種行事を行い、お互い地域の一員として連帯感を深めています。災害時には、隣近所での助け合いが大切になります。そのため、普段から町内会活動を通じた隣近所とのコミュニケーションが重要です。

### 町内会の活動

市には、295の単位町内会があり、それぞれ地域に合わせた活動を行っています。

- ▶街路灯やゴミ集積箱の設置と維持管理
- ▶側溝清掃などの環境美化清掃
- ▶各種行事の開催
- ▶広報、刊行物などの配布
- ▶社会福祉活動（共同募金、赤十字、交通災害共済など）
- ▶行政への要望提出（道路舗装、カーブミラー設置など）
- ▶防犯パトロールや交通安全運動



子どもたちの自転車への反射板取り付け作業（東小稲町内会）

### 町内会に加入しましょう

皆さんの身近な生活環境を支えているのは町内会です。町内会活動は、会員の会費により支えられています。住みよい生活環境を維持し、安全・安心なまちづくりを進めるため、町内会に加入し、一緒に活動しましょう。

### 町内会に加入するには

自分の住んでいる地区の町内会長、役員または下記にご連絡ください。

市町内会連合会事務局 ☎⑤6783  
生活環境課生活安全係 ☎⑤6725

## Pick up

### 南部裂織のように多様な地域の特色を尊重しひとつの形に 上十三・十和田湖広域定住自立圏形成協定を締結

10月4日、十和田市役所で上十三・十和田湖広域定住自立圏形成協定の合同調印式が行われ、十和田市・三沢市の共同中心市と関係町村（野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、秋田県小坂町）が協定を締結しました。

この定住自立圏は、県内では、八戸圏域、弘前圏域に次いで3例目ですが、2つの市が共同中心市となる「複眼型」、秋田県小坂町と県境を越えた「県境型」、おいらせ町が八戸圏域と重複する「圏域重複型」の3つの類型を兼ねる、いわば「トリプル型」は全国初の事例となります。協定書は、医療、福祉、産業、防災・消防、地域公共交通、公共施設の相互利用および人材交流などのさまざまな分野での取り組みが規定されています。

小山田市長は「5年、10年と中長期的に見据え、できることから着実に深化させたい。南部裂織のように、圏域市町村が互いの多様な特色を認め合い、尊重しながらひとつの形に紡いでいく、そのような圏域にしていきたい」と意気込みを話しました。

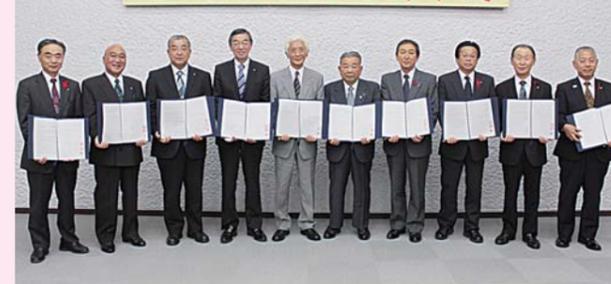
今後、年度内を目途に具体的な施策を含む共生ビジョンを策定し、来年度から取り組みを進めていく予定です。

### 上十三・十和田湖広域 定住自立圏 形成協定合同調印式



◀県境を越えて締結(写真左から)小山田市長、細越小坂町長、種市三沢市長

### 上十三・十和田湖広域 定住自立圏 形成協定合同調印式



協定を締結した2市8町村長ら